

用語解説（水道）

【ア】	
アセットマネジメント	資産の効率的な維持管理と計画的な投資を進める目的に導入される資産管理手法のこと。
イチニチサイタ ^イ キョウスイリョウ 一日最大給水量	1年間を通じて最も水道水を供給した量が多かった日の水量のこと。
イチニチハイキンキョウスイリョウ 一日平均給水量	1年間で供給した水道水の1日当たりの平均水量のこと。
イチフ ^ン ムリミアイ 一部事務組合	複数の地方公共団体が行政サービスの一部（水道水の供給など）を共同で行う目的として設置する組織のこと。大阪広域水道企業団がこれにあたる。
イク ^{キョウ} カ ^イ シユウイク 営業外収益	金融財務活動やその他主たる営業活動以外の原因から生じる収益のことで、水道事業においては、長期前受金戻入や加入金等が該当する。
イク ^{キョウ} カ ^イ キョウ 営業外費用	金融財務活動に要する費用や主たる営業活動以外の活動によって生じる費用のこと。
イク ^{キョウ} シユウイク 営業収益	地方公営企業の主たる営業活動により発生する収益のこと。
イク ^{キョウ} キョウ 営業費用	主に営業活動によって生じた費用のこと。人件費や減価償却費等が含まれる。
オオサカコウイクシイト ^ウ キキ ^{ョウ} タ ^ン 大阪広域水道企業団	大阪府より継承した水道用水供給事業及び工業用水道事業を行うため、大阪市を除く府内42市町村が構成団体となり、平成23年4月1日に設立された組織。

【カ】	
カイチウ 改築	既存の施設を新たに置き替えたり、施設の一部を活かしながら部分的に新しくして所定の耐用年数を新たに確保すること。
カンロクイケン ^キ カリツ 管路経年化率	法定耐用年数を超える管路の割合から管路の老朽化度合いを判断する指標のこと。大きくなるほど老朽化が進んでいることを示す。
カンロクウ ^ン カリツ 管路更新率	布設されている管路の全体延長に占める1年間で更新した管路延長の割合のこと。
キキカンリタイリク 危機管理対策	災害時等における市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、地震災害や風水害による被害の軽減を図ること。
キキ ^{ョウ} サイ 企業債	地方公営企業が行う建設改良事業などに要する資金に充てるために起こす地方債（国などからの長期借入金）のこと。
キョウスイカイ ^キ 給水区域	市町村等が厚生労働大臣（都道府県知事）の認可を受けて水道水を供給する区域のこと。
キョウスイカ ^ン カ 給水原価	水道水を1m ³ 作り、供給するのに必要とする経費のこと。
キョウスイシユウイク 給水収益	水道事業における主な収入（水道料金）のこと。
キョウスイ ^ン コウ 給水人口	給水区域に住み、水道サービスを利用できる人口のこと。
キョウキョウ ^ン カ 供給単価	水道水1m ³ あたりの平均販売単価のこと。

カリノハシユウキ ヲヨクキク 繰延収益の償却	補助金等により取得し又は改良された償却資産の減価償却等に伴い繰延収益を償却すること。
ガイノオウシユウシヒリツ 経常収支比率	当該年度において、料金収入等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標のこと。
ケンカショウキヤク 減価償却	固定資産の価値は次第に減少していくため、固定資産の原価を費用に配分する手続きのこと。
ケンカショウキヤクヒ 減価償却費	減価償却に伴って計上する費用のこと。実際にお金を支払うものではないため、「現金を伴わない支出」とされている。
コウキョウコソスイトウ 工業用水道	工業事業者（製造業、電気供給業、ガス供給業及び熱供給業）に対して工業用水（工業のために使用する水。飲用水を除く）を供給する事業
コウシン 更新	既存の施設を新たに置き換えること。
コウトシヨウスイヨリ 高度浄水処理	オゾンや粒状活性炭等による処理を用いて、かび臭やトリハロメタン等を取り除き、より安全で良質な水道水をつくるための処理。
コテイシヤン 固定資産	企業が保有している資産で、具体的な物である「有形固定資産」、法律上の権利等を示す「無形固定資産」等がある。固定資産のうち、減価償却すべきものを「償却資産」という。

【サ】

シキョウ 資金	事業の運営や経営を行っていくなかで使用される金銭のこと。これを使用して水道施設という資産へ変わっていく。
ジミコスイケツ 自己水源	水道事業者独自の水源のこと。
シラライリソク 支払利息	企業債等の借入金により支払うこととなる利息。営業外費用に含まれる。
シマンテキシユウ 資本的収支	収益や費用にあたらぬとして収益的収支に計上しないもの。資産の購入・構築、補助金の受領、企業債の借入や償還等。
シユウエキテキシユウ 収益的支出	1事業年度の営業活動に伴って発生するすべての支出のこと。
シユウエキテキシユウ 収益的収支	1事業年度の企業の経済活動に伴って発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用を意味し、一般的に赤字・黒字といわれるものは、この収支のこと。
シユウエキテキシユウ 収益的収入	1事業年度の営業活動に伴って発生するすべての収入のこと。
シユスイ 受水	水道事業者が水道用水供給事業から浄水（水道用水）の供給を受けること。
シユスイヒ 受水費	受水に係る費用のこと。
シヨウスイジョウ 浄水場	河川水や地下水等をきれいにするための施設のこと。
スイトウケンキョウ 水道事業	一般の需要に応じて水道によって水を供給する事業。「水道法」による水道事業には、給水人口100人以下のものは含まれず、給水人口5000人以下の場合は簡易水道事業とよばれる。

水道施設	水道のための取水施設、貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設及び配水施設の総称。
水道普及率	全体の人口のうち給水を受けている人口割合のこと。
水道用水供給事業	川の水を浄化し、各市町村へ送水する事業のこと。
送水管	浄水場で浄水処理された「水道水」を、浄水場から配水池、ポンプ施設などの配水施設に送る水道管のこと。
損益勘定留保資金	減価償却費などの「現金を伴わない支出」により、企業内に留保される自己資金のこと。

【ク】

耐震化	地震による被害を最小限にとどめるための対策のこと。
ダウンサイジング	水需要の減少や技術進捗に伴い、施設更新等に際して施設能力を縮小し、施設の効率化を図ること。
長期前受金	減価償却を行うべき固定資産の取得または改良に充てるために受け入れた補助金や負担金のこと。「繰延収益」として整理される。
長期前受金戻入	繰延収益の償却に伴い計上する収益のこと。実際にお金が入るものではないため、「現金を伴わない収入」とされている。
独立採算制	公営企業は、「その経費を当事業収入をもって充てることとし、自律性をもって事業を継続していく」といった考え方。

【ナ】

庭窪浄水場	大阪広域水道企業団の浄水場の1つで守口市にある浄水場。
-------	-----------------------------

【ハ】

配水場（配水池）	水道水を貯留・調整し、需要家に供給（配水）するための施設。
法定耐用年数	法律に定められた会計上の資産の耐用年数を指す。※この年数を過ぎると使用できないということではない

【マ】

ミクロマネジメント	水道施設の日常的な資産管理（水道施設の運転管理・点検調査、診断・評価）を行うこと。
水需要	水道水の使用見込量のこと。
村野浄水場	大阪広域水道企業団の浄水場の1つで枚方市にある浄水場。

【ヤ】	
有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標のこと。更新投資の必要性がどの程度差し迫っているかを示す。
有収水量	水道料金の徴収対象となった水量のこと。
有収率	施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標のこと。一般的に100%に近い方が望ましい。
予防保全型	損傷が発生してから対応する対症療法型管理ではなく、損傷の推移を適切に予測し事故の発生を未然に防ぐことを目的としている。

【ラ】	
ライフライン	生活をするための基盤となるもの。「電気、ガス、水道、下水道、交通、通信」等が挙げられる。
料金回収率	料金収入により給水原価をまかなえているかを判断する指標のこと。

【ワ】	
該当なし	